

# NUBIC知的財産情報開示

開示日: 2003年12月15日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2003000072"/> 整理番号 <input type="text" value="10584"/> 担当者 <input type="text" value="齋藤 光史"/>
表 題	茯苓由来DNA合成酵素及びDNAトポイソメラーゼ阻害性組成物
技術分野	化学・薬品
適応製品	癌, エイズ, 免疫疾患に対する予防あるいは治療のための医薬品
目 的	DNA合成酵素阻害活性及びDNAトポイソメラーゼの阻害活性を介した癌細胞の増殖能の抑制により, 腫瘍及び免疫疾患の領域において治療効果をもたらす, DNA合成酵素阻害性及びDNAトポイソメラーゼ阻害性組成物を利用した医薬組成物を提供する。
技術概要	本発明は, 茯苓若しくは茯苓皮からメタノールなどの水溶性溶媒を用いて抽出し, 抽出物をクロロホルムなどの非水系溶媒と水とで分別後, 非水系溶媒画分, 若しくは茯苓若しくは茯苓皮からクロロホルムなどの非水系溶媒で直接抽出した抽出物から, DNA合成酵素およびDNAトポイソメラーゼ阻害組成物を得ることを特徴とするDNA合成酵素およびDNAトポイソメラーゼ阻害組成物の製造方法に関するものである。 本発明は, 癌およびエイズの発症, 進行を予防する作用あるいは治癒, また臓器移植時等の免疫抑制作用に極めて有用なDNA合成酵素およびDNAトポイソメラーゼ阻害剤を提供する。該当阻害剤は単独作用により, 癌細胞を死滅させる機能を有する。また, 本発明によれば, デヒドロトラメテノン酸およびデヒドロエプリコン酸は癌, エイズ, 免疫疾患に対する予防あるいは治療のための医薬品として活用され得る。

技術移転等をご希望の場合は, 下記事項をご記入の上, 本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を申し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【 申込み・問い合わせ先 】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本学会館

TEL: 03-5275-8139 FAX: 03-5275-8328 e-mail: nubic@adm.nihon-u.ac.jp